

Hinemos Webクライアント ver1.0
ユーザマニュアル
第1.0版

目次

1 HinemosWeb クライアントの概要	4
1.1 特徴.....	4
1.2 システム概要.....	4
1.3 前提条件.....	4
1.4 動作環境.....	5
2 統合画面機能	6
2.1 機能概要.....	6
2.2 Hinemos マネージャの起動、HinemosWeb サーバの起動.....	6
2.3 HinemosWeb クライアントへのアクセス.....	6
2.4 ログイン.....	6
2.5 ログアウト.....	6
2.6 画面レイアウト(パースペクティブ)の選択.....	7
3 リポジトリ機能	8
3.1 機能概要.....	8
3.2 画面構成.....	8
3.2.1 初期画面構成.....	8
3.2.2 リポジトリ[ノード]ビュー.....	9
3.2.3 リポジトリ[プロパティ]ビュー.....	10
3.2.4 リポジトリ[割当てスコープ]ビュー.....	11
3.2.5 リポジトリ[スコープ]ビュー.....	11
3.3 プロパティ情報の確認.....	12
4 監視管理機能	13
4.1 機能概要.....	13
4.1.1 初期画面構成.....	13
4.1.2 監視[スコープ]ビュー.....	14
4.1.3 監視[ステータス]ビュー.....	14
4.1.4 監視[イベント]ビュー.....	15
4.2 機能利用の前提条件.....	15
4.3 スコープ監視.....	16
4.3.1 スコープ監視の日付項目.....	16
4.4 ステータス監視.....	17
4.4.1 ステータスのフィルタ処理.....	17
4.4.2 フィルタの解除.....	19
4.4.3 ステータス監視の日付項目.....	19
4.5 イベント監視.....	20
4.5.1 イベント確認.....	20
4.5.2 イベントのフィルタ処理.....	20
4.5.3 イベントの詳細内容確認.....	21
4.5.4 イベント監視の日付項目.....	22
4.5.5 INTERNAL イベント.....	22
4.5.6 監視画面更新周期・履歴の表示制限.....	22

5 ジョブ管理機能	23
5.1 機能概要.....	23
5.1.1 ジョブの構成.....	23
5.1.2 終了状態と終了値.....	23
5.2 画面構成.....	24
5.2.1 初期画面構成.....	24
5.2.2 ジョブ[一覧]ビュー.....	24
5.2.3 ジョブ[スケジュール]ビュー.....	25
5.2.4 ジョブ[履歴]ビュー.....	25
5.2.5 ジョブ[実行予定]ビュー.....	26
5.2.6 ジョブ[ジョブ詳細]ビュー.....	26
5.2.7 ジョブ[実行予定詳細]ビュー.....	27
5.2.8 ジョブ[ノード詳細]ビュー.....	27
5.2.9 ジョブ[ファイル転送]ビュー.....	27
5.3 ジョブ実行履歴の一覧表示.....	28
6 制限事項	29
7 変更履歴	31

1 HinemosWeb クライアントの概要

1.1 特徴

HinemosWebクライアントはHinemosクライアントと比較して以下の特徴があります。

- 専用のアプリケーションをクライアント用PCにインストールする必要がなく、ブラウザが利用できる端末であれば、OSに依存せずHinemosマネージャにアクセスが可能
- 同一ネットワーク上にない端末からでも、HTTP/HTTPS通信を利用することで、インターネット・イントラネット経由でHinemosマネージャへアクセスが可能
- Hinemosクライアント用のサーバへ1回インストール・セットアップするだけで、様々な端末からのアクセスが可能

1.2 システム概要

HinemosWebクライアントはHinemosクライアントの以下機能について、Webからの参照機能を提供します。

- ① 統合画面機能
 - ログイン
 - ホーム画面
 - ログアウト
 - 画面レイアウト(パースペクティブ)の選択
- ② リポジトリ機能
 - リポジトリ[ノード]
 - リポジトリ[割当てスコープ]
 - リポジトリ[スコープ]
 - リポジトリ[プロパティ]
- ③ 監視管理機能
 - 監視[スコープ]
 - 監視[ステータス]
 - 監視[イベント]
- ④ ジョブ管理機能
 - ジョブ[一覧]
 - ジョブ[スケジュール]
 - ジョブ[履歴]
 - ジョブ[実行予定]
 - ジョブ[ジョブ詳細]
 - ジョブ[実行予定詳細]
 - ジョブ[ノード詳細]
 - ジョブ[ファイル転送]

1.3 前提条件

HinemosWebクライアント使用時には、Hinemosマネージャ環境が準備されている必要があります。HinemosWebクライアントのVer1では参照機能のみを提供しますので、各機能の登録、変更、削除などの処理はHinemosクライアントから実施します。

1.4 動作環境

HinemosWeb クライアントの動作環境は以下となります。

表 1-1 HinemosWeb クライアントの動作環境

Hinemos マネージャのバージョン	Hinemos マネージャ v3.1.x 及び v3.2.x
ブラウザ	InternetExplorer(バージョン 6, 7, 8)
	Mozilla Firefox (11.x.x)

2 統合画面機能

2.1 機能概要

統合画面機能では、以下の機能を提供します。

- ・ 各種の運用管理画面を統合的に表示することが可能

2.2 Hinemos マネージャの起動、HinemosWeb サーバの起動

HinemosマネージャとHinemosWebサーバを起動します。

Hinemosマネージャの起動については、Hinemosのインストールマニュアルをご参照ください。

HinemosWebサーバの起動については、インストール先各アプリケーションサーバの起動方法を
確認し、起動してください。

2.3 HinemosWeb クライアントへのアクセス

ブラウザを起動し、HinemosWebクライアントのインストールサーバへアクセスします。

インストール時のデフォルト設定の場合、以下のURLでアクセスすることができます。

`http://(サーバホスト名)[:ポート番号]/hinemos/`

尚、サービスポート番号、及び、URLの詳細については、インストール時の設定をご確認の上、
「インストール・アンインストール手順書」をご参照ください。

2.4 ログイン

以下の手順で、指定のユーザでHinemosにログインすることができます。

1. メニュー・バーの【アクセス】→【ログイン】を選択します。ログイン画面が表示されます。
2. ユーザID、パスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。前回ログイン時と異なる
サーバにアクセスする場合には、接続先URLを変更後に「ログイン」ボタンをクリックします。
ユーザ登録、ログインパスワードの変更はHinemosクライアントから実施します。

2.5 ログアウト

以下の手順で、ログアウトします。

1. メニュー・バーの【アクセス】→【ログアウト】を選択します。
ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

2.6 画面レイアウト(パースペクティブ)の選択

画面レイアウトとして、以下の3つが用意されています。

- リポジトリ機能
- 監視管理機能
- ジョブ管理機能

画面レイアウトの選択は、以下の手順で行ってください。

1. メニュー・バーの【パースペクティブ】→【パースペクティブ表示】を選択します。

パースペクティブの選択ダイアログが表示されます。パースペクティブは、本ソフトウェアにおいては画面構成のセットのことを指します。

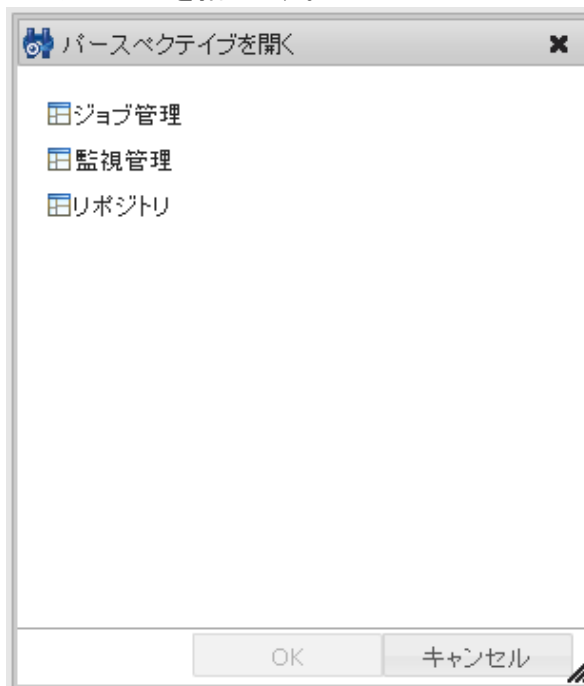


図 2-1 パースペクティブの選択ダイアログ

2. 表示したい画面レイアウト(パースペクティブ)を選択します。
3. 『OK』ボタンをクリックします。

3 リポジットリ機能

3.1 機能概要

リポジットリ機能は、Hinemosで運用管理する管理対象の情報を表示することが可能です。

3.2 画面構成

3.2.1 初期画面構成

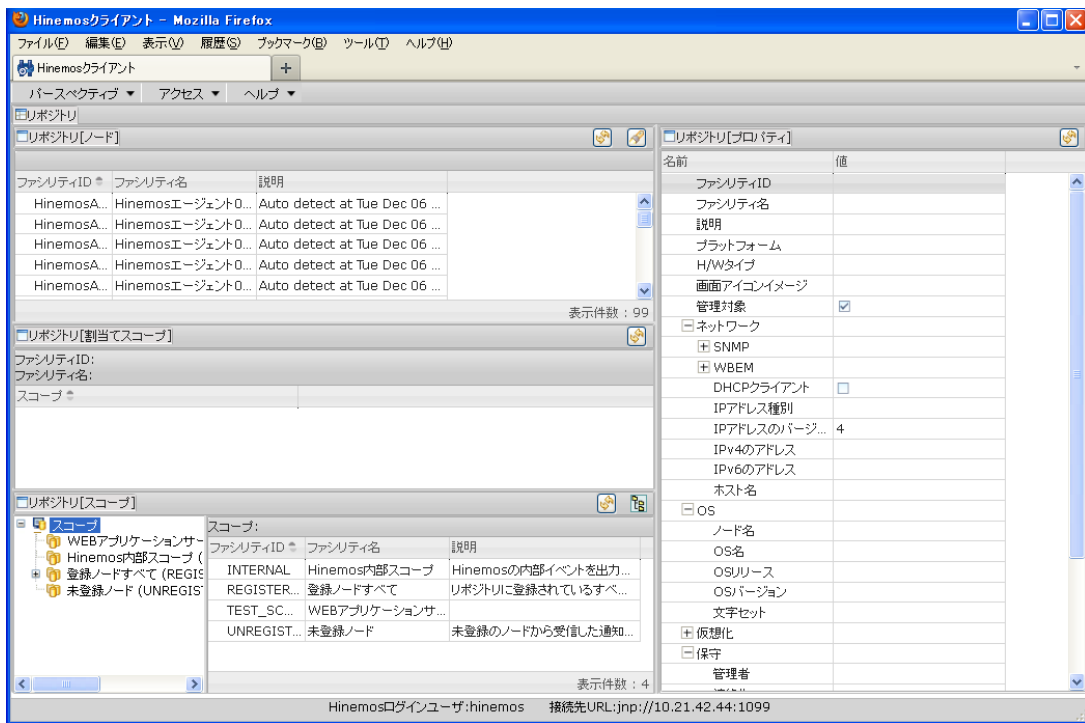


図 3-1 リポジットリ機能初期画面構成

3.2.2 リポジトリ[ノード]ビュー

登録されているノードの一覧を表示するビューです。

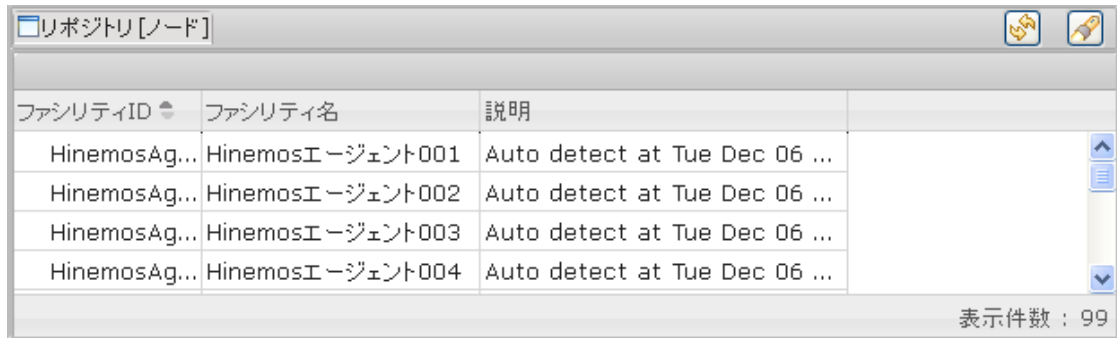




図 3-2 リポジトリ[ノード]ビュー

表 3-1 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	フィルタ処理	ノード情報一覧のフィルタ設定を行います。
	更新	リポジトリ[ノード]ビューの内容を最新のものに更新します。


3.2.3 リポジトリ[プロパティ]ビュー

ノードの登録内容を表示するビューです。リポジトリ[ノード]ビューで選択されているノードの情報が表示されます。

名前	値
ファシリティID	
ファシリティ名	
説明	
プラットフォーム	
H/Wタイプ	
画面アイコンイメージ	
管理対象	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ネットワーク	
<input type="checkbox"/> SNMP	
<input type="checkbox"/> WBEM	
DHCPクライアント	<input type="checkbox"/>
IPアドレス種別	
IPアドレスのバージョン	4
IPv4のアドレス	
IPv6のアドレス	
ホスト名	
<input type="checkbox"/> OS	
ノード名	
OS名	
OSリリース	
OSバージョン	
文字セット	
<input type="checkbox"/> 仮想化	
<input type="checkbox"/> 保守	
管理者	
連絡先	
<input type="checkbox"/> デバイス	
<input type="checkbox"/> ファイルシステム	
作成日時	2012/03/13 22:34:57
新規作成ユーザ	
最終変更日時	2012/03/13 22:34:57
最終変更ユーザ	
備考	

図 3-3 リポジトリ[プロパティ]ビュー

表 3-2 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	リポジトリ[プロパティ]ビューの内容を最新のものに更新します。


3.2.4 リポジトリ[割当てスコープ]ビュー

ノードがどのスコープに割当てられているのかを一覧表示するビューです。リポジトリ[ノード]ビューで選択されているノードの割当て状況が表示されます。



図 3-4 リポジトリ[割当てスコープ]ビュー

表 3-3 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	リポジトリ[割当てスコープ]ビューの内容を最新のものに更新します。

3.2.5 リポジトリ[スコープ]ビュー

登録されているスコープの情報を表示するビューです。

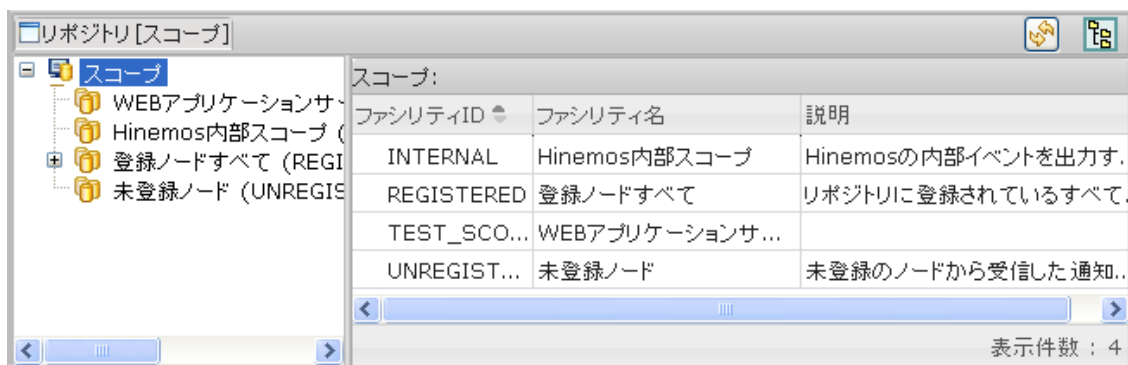


図 3-5 リポジトリ[スコープ]ビュー

表 3-4 ツールバー



アイコン	ボタン名	説明
	更新	リポジトリ[スコープ]ビューの内容を最新のものに更新します。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示/非表示を選択できます。

表 3-5 組み込みスコープ一覧

スコープ	説明
Hinemos内部スコープ(Internal)	Hinemos内部で発生するイベント(内部エラーなど)を格納するスコープ
登録ノードすべて(REGISTERED)	登録されているノードすべての情報を確認するためのスコープ
未登録ノード(UNREGISTERED)	Hinemosに登録されていないノードからログやトラップを受信する際に利用するスコープ

3.3 プロパティ情報の確認

リポジトリ[ノード]ビューのノード一覧テーブルから、プロパティ情報を確認したいノードを選択します。選択されたノードのプロパティ情報とノードの割当て状況が、それぞれ、リポジトリ[プロパティ]ビューとリポジトリ[割当てスコープ]ビューに表示されます。ノード情報の設定を変更した際に変更が反映されない場合は、各ビューの『更新』ボタンをクリックしてください。

4 監視管理機能

4.1 機能概要

システムやアプリケーションのログや監視対象ノードのステータスを監視する機能を提供します。監視ログ情報をスコープ別に一覧表示することができます。また、状態をステータスとして一覧表示することができます。

主な機能として、以下の機能を提供します。

- ・ ログ情報・ステータス情報の一覧表示

スコープごとに、ログ情報・ステータス情報を一覧表示することができます。スコープに属する監視ログ情報のうちで最も危険度が高い重要度を、スコープ自体の重要度として表示します。一覧表示されている監視ログ情報は重要度ごとに集計され、その数を表示します。監視ログ情報をその属性項目を条件として絞込んで表示することができます。監視ログは、オペレータがそのログを確認したか否かのフラグを持っています。“確認”作業を行うことで、確認済みの監視ログ情報を一覧から非表示にすることができます。

- ・ ドリルダウン表示

スコープの階層構造に合わせてドリルダウン的に下位のログ情報を参照することができます。画面内では、スコープが階層構造で表示されます。ツリー内のスコープを選択することで、スコープの階層構造に合わせてドリルダウン的に詳細情報を表示していくことができ、まず全体を確認してから詳細状況へといった見方を可能とします。

4.1.1 初期画面構成

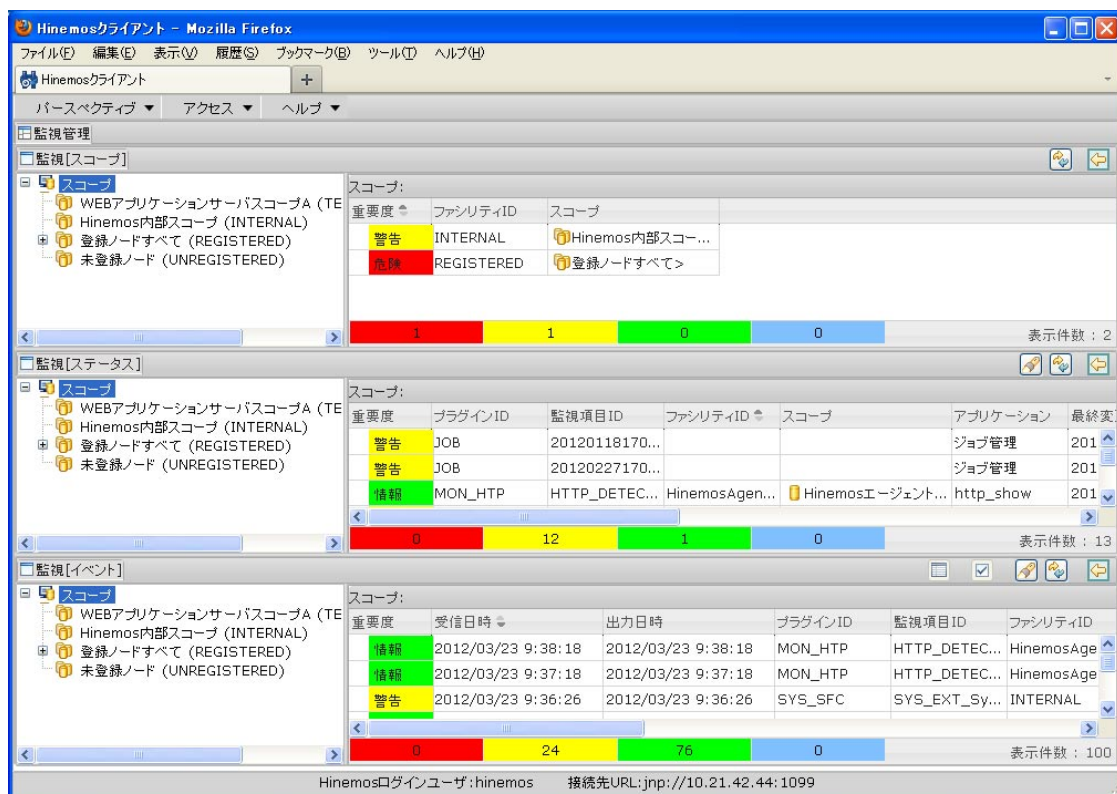


図 4-1 初期画面構成



4.1.2 監視[スコープ]ビュー

スコープの状態を表示するビューです。スコープごとのログ・ステータス情報を集約したものを出力します。



図 4-2 監視[スコープ]ビュー

表 4-1 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	テーブルの内容を最新の情報に更新します。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示／非表示を選択できます。

ビューの下部には、ビューに表示されている情報を重要度別にカウントした値が重要度の色別に表示されます。また、ビューの右下部[表示件数]には、ビュー内に表示されている情報の総数が表示されます。




4.1.3 監視[ステータス]ビュー

現在のスコープの状態を表示するビューです。



図 4-3 監視[ステータス]ビュー

表 4-2 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	フィルタ処理	ステータス一覧のフィルタ処理を行います。
	更新	テーブルの内容を最新の情報に更新します。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示／非表示を選択できます。

ビューの下部には、ビューに表示されている情報を重要度別にカウントした値が重要度の色別に表示されます。また、ビューの右下部[表示件数]には、ビュー内に表示されている情報の総数が表示されます。

4.1.4 監視[イベント]ビュー

収集されているログ情報を表示するビューです。

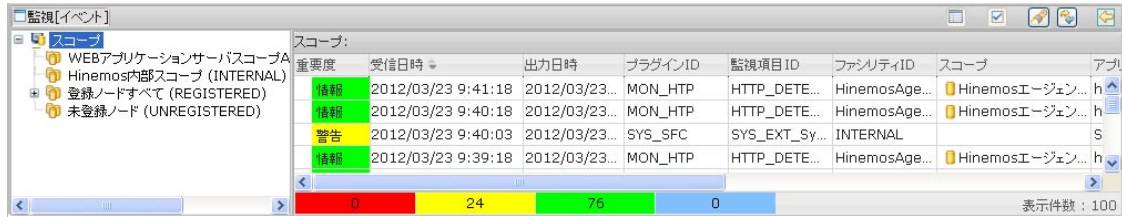


図 4-4 監視[イベント]ビュー

表 4-3 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	詳細	イベントの詳細な内容を表示します。
	確認	イベントの確認処理を行います。この処理を実施したユーザが確認ユーザとして保存されます。
	フィルタ処理	イベント一覧のフィルタ処理を行います。
	更新	テーブルの内容を最新の情報に更新します。
	スコープ階層ペインの表示	スコープツリーの表示／非表示を選択できます。

ビューの下部には、ビューに表示されている情報を重要度別にカウントした値が重要度の色別に表示されます。また、ビューの右下部[表示件数]には、ビュー内に表示されている情報の総数が表示されます。

※監視[イベント]ビューに表示されるイベント情報の総数は、Hinemosのデータベースに格納されている イベント情報の総数ではなく、監視[イベント]ビューに表示されているイベント情報の総数です。

4.2 機能利用の前提条件

監視管理機能で監視設定を行う場合、前提条件として下記の設定が実施されている必要があります。

下記設定はHinemosクライアントから設定します。

- ・ 監視対象とするノードがリポジトリ機能にて登録され、いずれかのスコープに割当てられていること
- ・ 監視結果の通知方法の設定が、共通機能の通知設定にて登録されていること
- ・ 監視の有効期間をカレンダー設定をもとに設定する場合は、共通機能のカレンダー設定にてカレンダーが登録されていること
- ・ イベント通知を契機としたジョブ実行を実行したい場合は、実行対象のジョブが登録されていること

4.3 スコープ監視

監視[スコープ]ビューには、スコープごとのステータス・イベント情報を集計したものが出力されます。左側のツリーペインで選択したスコープの状態が表示されます。右側のリストには、選択されているスコープ以下(自分自身も含む)の スコープに出力されたステータス・イベント情報の中で、最も重要度の高いものが出力されます。

出力されるステータス・イベント情報は、以下のルールに従います。

- ・ ステータス・イベント出力の中でもっとも重要度の高いもの
- ・ 同じ重要度のステータス・イベント出力が複数ある場合は、最後に出力されたもの

重要度は、以下の4段階となります。

- ・ 危険 … 赤色で表示
- ・ 警告 … 黄色で表示
- ・ 情報 … 緑色で表示
- ・ 不明 … 水色で表示

重要度の優先度は下記となります。

危険 > 不明 > 警告 > 情報

4.3.1 スコープ監視の日付項目

監視[スコープ]ビューに表示される日付項目の説明を以下の表に示します。

表 4-4 監視[スコープ]ビューの日付項目

項目	対象OS時刻	説明
最終変更日時	Hinemosマネージャ サーバ	最後に監視を実行した時刻を表示します。

4.4 ステータス監視

各スコープのステータス情報として、監視機能からの通知情報が一覧で表示されます。イベント表示とは異なり、常に最新の状態のみ表示されます。ステータス通知は、プラグイン ID と監視項目 ID で識別されます。プラグイン ID と監視項目 ID の両方が一致する通知を受けると前の状態を更新します。

4.4.1 ステータスのフィルタ処理

1. 監視[ステータス]ビューの『フィルタ処理』ボタンをクリックします。監視[ステータスのフィルタ処理]ダイアログが開きます。

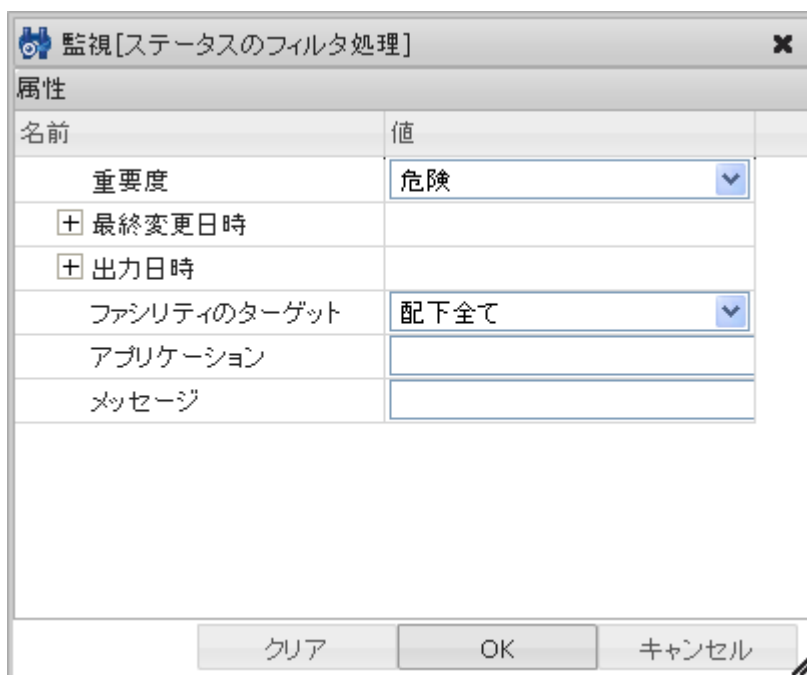


図 4-5 監視[ステータスのフィルタ処理]ダイアログ

2. 以下の項目から、絞り込む条件を設定します。条件に含めない項目については、空欄にしてください（フィルタリング設定を初期条件に戻したい場合は、『クリア』ボタンを押してください）。

- ・ 重要度:
通知の重要度を絞り込み条件とします。コンボボックスから選択します。
- ・ 最終変更日時:
通知の最終変更日時を絞り込み条件とします。名前欄で「最終変更日時」のツリーを展開し、「開始」「終了」の入力欄横のボタンをクリックすると、日時ダイアログが開きますので、日付を選択してください。時刻はコンボボックスから選択します。



図 4-6 日時ダイアログ

- ・ 出力日時:
通知の出力日時を絞り込み条件とします。名前欄で「出力日時」のツリーを展開し、「開始」「終了」入力欄横のボタンをクリックすると、日時ダイアログが開きますので、日付を選択してください。時刻はコンボボックスから選択します。
 - ・ ファシリティのターゲット:
表示対象のファシリティ(スコープとノード)を以下から選択することができます。
 - ・ 配下全て … 選択されているスコープを含む配下全てのノードを表示対象とします。
 - ・ 直下のみ … 選択されているスコープを含み、そのスコープに含まれるスコープとノードのみを表示対象とします。
 - ・ アプリケーション:
通知の発生元アプリケーションを絞り込み条件とします。入力欄にテキストで入力してください。ここに入力された文字列を含むものが出力対象となります。
 - ・ メッセージ:
通知のメッセージ内容を絞り込み条件とします。入力欄にテキストで入力してください。ここに入力された文字列を含むものが出力対象となります。
3. 『OK』ボタンをクリックします。監視[ステータスのフィルタ処理]ダイアログが閉じられ、設定した条件を満たす通知だけが、監視[ステータス]ビューに表示されるようになります。

スコープが表示されていた欄の表示が、“フィルタ済み一覧”となり、『フィルタ処理』ボタンが押し込まれたアイコンに変わります。

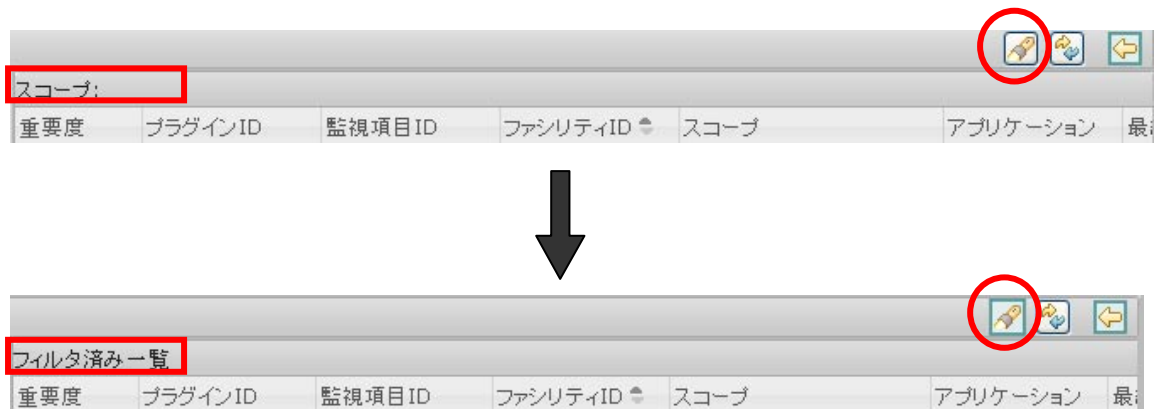


図 4-7 フィルタ済み一覧

4.4.2 フィルタの解除

監視[ステータス]ビューの『フィルタ処理』ボタン(押し込まれている状態)をクリックします。

4.4.3 ステータス監視の日付項目

監視[ステータス]ビューに表示される日付項目の説明を以下の表に示します。

表 4-5 監視[ステータス]ビューの日付項目

項目	対象OS時刻	説明
最終変更日時	Hinemos マネージャ サーバ	最後に監視を実行した時刻を表示します。
出力日時	Hinemos マネージャ サーバ	最初に監視を実行した時刻を表示します。一度ステータス情報を削除した場合は、削除後に最初に監視を実行した時刻を表示します。重要度が変更されて通知が行われた場合は、変更された監視を実行した時刻を表示します。

4.5 イベント監視

4.5.1 イベント確認

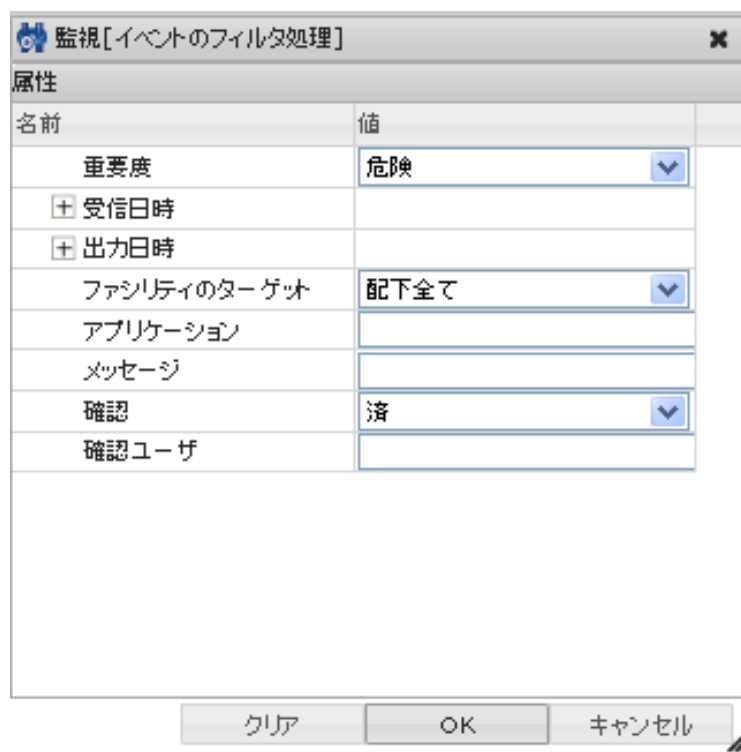
監視[イベント]ビューのイベント一覧から確認作業を行う通知を選択し、『確認』ボタンをクリックします。指定された通知の確認フラグが「確認済み」となり、確認処理を実施したユーザが、「確認ユーザ」として保存されます。

確認済みの通知を未確認状態に戻したい場合は、Hinemosクライアントから設定します。

4.5.2 イベントのフィルタ処理

監視[イベント]ビューの『フィルタ処理』ボタンをクリックすると、監視[イベントのフィルタ処理]ダイアログが開きます。絞り込み条件を指定します。設定方法はステータスのフィルタ処理とほぼ同様ですが、加えて以下の項目を指定することができます。

- ・ 確認:
確認フラグの状態を指定します。コンボボックスから「未」または「済」を指定します。
- ・ 確認ユーザ:
確認処理を実行したユーザを指定します。入力欄にテキストで入力してください。



名前	値
重要度	危険
+ 受信日時	
+ 出力日時	
ファシリティのターゲット	配下全て
アプリケーション	
メッセージ	
確認	済
確認ユーザ	

図 4-8 監視[イベントのフィルタ処理]ダイアログ

4.5.3 イベントの詳細内容確認

監視[イベント]ビューのイベント一覧から、表示対象のイベントを選択し、ダブルクリックまたは『詳細』ボタンをクリックします。監視[イベントの詳細]ダイアログが開きます。



図 4-9 監視[イベントの詳細]ダイアログ

オリジナルメッセージの確認

監視[イベントの詳細]ダイアログの「オリジナルメッセージ」欄を選択すると、右端に「…」ボタンが表示されます。このボタンをクリックするとオリジナルメッセージダイアログが開き、オリジナルメッセージを確認することができます。

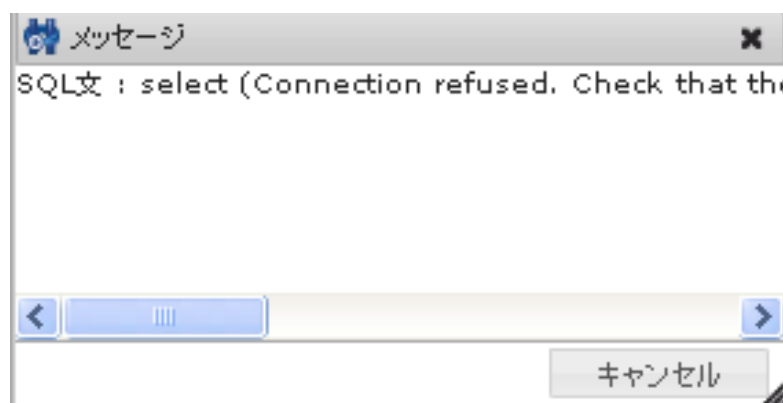


図 4-10 オリジナルメッセージダイアログ

4.5.4 イベント監視の日付項目

監視[イベント]ビューに表示される日付項目の説明を以下の表に示します。

表 4-6 監視[イベント]ビューの日付項目

項目	対象OS時刻	説明
受信日時	Hinemos マネージャサーバ	Hinemos マネージャ側で管理DB (PostgreSQL) に格納した時刻を表示します。
出力日時	Hinemos マネージャサーバ (syslog-ng 監視以外)、監視対象サーバ (syslog-ng 監視の場合)	監視した時刻を表示を表示します。基本的には Hinemos マネージャからポーリングする方式で監視するため、Hinemos マネージャサーバの時刻になります。syslog-ng 監視の場合、送信されてきた syslog パケット内のログ出力時刻を使用します。同様に受信型の監視方式として SNMPTrap 監視がありますが、SNMPTrap の場合は Hinemos マネージャサーバの受信日時を使用します。

4.5.5 INTERNAL イベント

INTERNAL イベントとは Hinemos 内部で発生するイベントです。INTERNAL イベントが発生した場合、デフォルトで監視[イベント]ビューに表示されます。

4.5.6 監視画面更新周期・履歴の表示制限

画面の情報は一定周期でクライアントからマネージャの情報を取得することで定期的に更新されます。なお、更新間隔は変更することができません。

1. 自動更新周期

監視[スコープ]ビュー、監視[ステータス]ビュー、監視[イベント]ビューでは、10分周期で、ビューの内容が更新されます。

2. イベント数の表示制限

監視[イベント]ビューに関して、イベント件数が表示イベント数(100件)を超えた場合でもメッセージは出力されません。

5 ジョブ管理機能

5.1 機能概要

登録されたジョブについて、実行中のジョブの進捗状況や、実行完了したジョブを一覧画面で確認することができます。

5.1.1 ジョブの構成

Hinemosでは、ジョブに階層構造を持たせることができます。ジョブの階層は、以下の要素で構成されます。

- ・ ジョブユニット
ジョブ階層の最上位要素です。全てのジョブネットとジョブは、このジョブユニットの要素として設定します。
- ・ ジョブネット
ジョブをひとまとめにして扱うことのできる要素です。ジョブとともにジョブネットもまとめて扱うことができます。
- ・ ジョブ
最小の実行単位です。
- ・ ファイル転送ジョブ
ファイルの転送を実行する特別なジョブです。コマンドを設定する代わりに、ファイル転送用の設定を行います。

5.1.2 終了状態と終了値

ジョブユニット、ジョブネット、ジョブのいずれも、実行の終了状態と終了値を持ちます。終了状態には正常、警告、異常の3つの状態があります。終了値は、終了状態によって決定されます。どの終了状態のときに、どの終了値とするのかはHinemosクライアントから設定することができます。

5.2 画面構成

5.2.1 初期画面構成

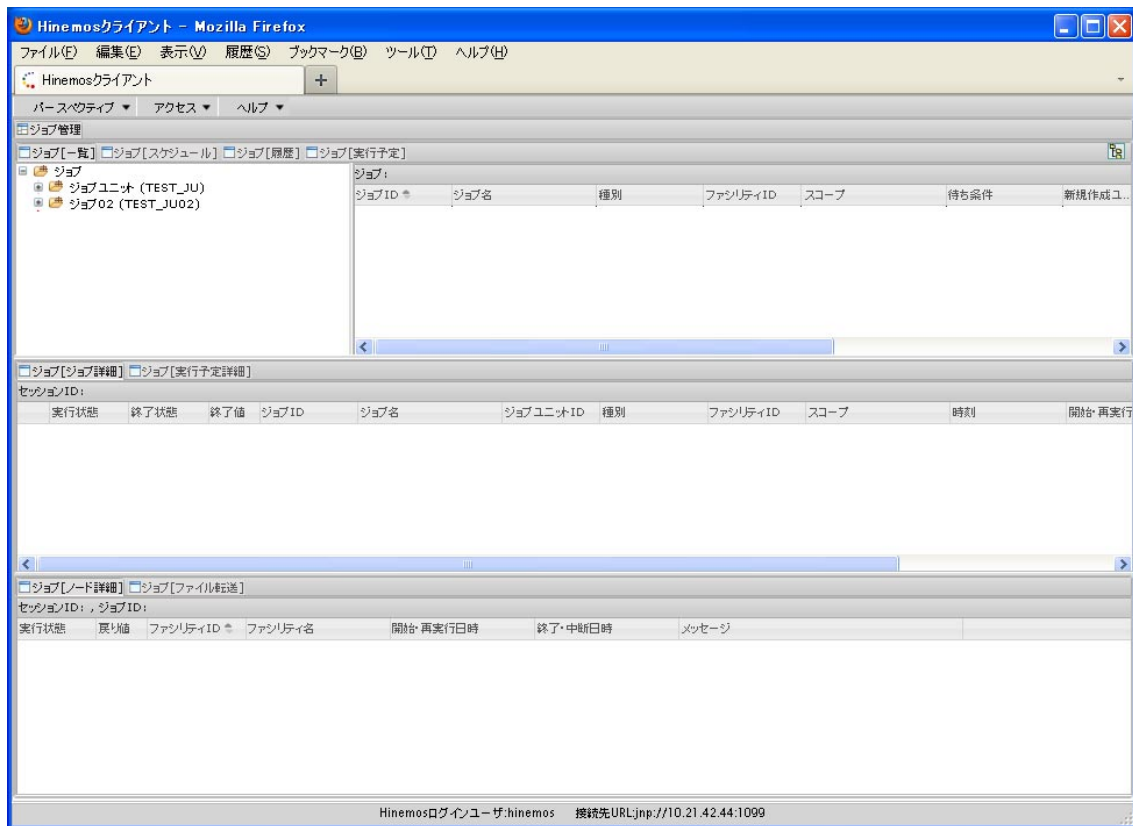


図 5-1 ジョブ管理機能初期画面構成

5.2.2 ジョブ[一覧]ビュー

ジョブ、ジョブネット、ジョブユニットの一覧を表示します。




図 5-2 ジョブ[一覧]ビュー

表 5-1 ジョブツリーのアイコン

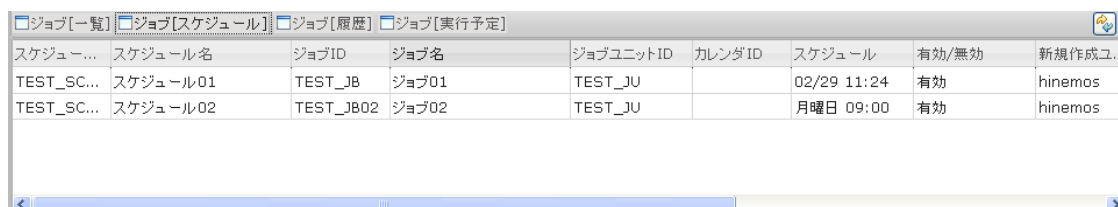
アイコン	説明
	ジョブユニットを表します。
	ジョブネットを表します。
	ジョブを表します。
	ファイル転送ジョブを表します。

表 5-2 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	ジョブ階層ペインの表示	ジョブツリーの表示／非表示を選択できます。

5.2.3 ジョブ[スケジュール]ビュー


スケジュールの一覧を表示します。



スケジュール名	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニットID	カレンダーID	スケジュール	有効/無効	新規作成...
TEST_SC...	TEST_JB	ジョブ01	TEST_JU		02/29 11:24	有効	hinemos
TEST_SC...	TEST_JB02	ジョブ02	TEST_JU		月曜日 09:00	有効	hinemos

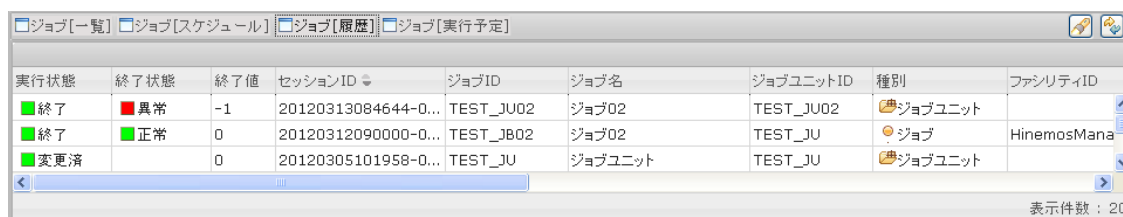
図 5-3 ジョブ[スケジュール]ビュー

表 5-3 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	ジョブのスケジュールを更新します。

5.2.4 ジョブ[履歴]ビュー

実行されたジョブ、ジョブネット、ジョブユニットの履歴を表示します。





実行状態	終了状態	終了値	セッションID	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニットID	種別	ファンリティID
■ 終了	■ 異常	-1	20120313084644-0...	TEST_JU02	ジョブ02	TEST_JU02	ジョブユニット	
■ 終了	■ 正常	0	20120312090000-0...	TEST_JB02	ジョブ02	TEST_JU	ジョブ	HinemosMana
■ 変更済		0	20120305101958-0...	TEST_JU	ジョブユニット	TEST_JU	ジョブユニット	

表示件数 : 20

図 5-4 ジョブ[履歴]ビュー

表 5-4 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	フィルタ処理	ジョブ実行履歴一覧のフィルタ処理を行います。
	更新	ジョブ実行履歴一覧を最新のものに更新します。

5.2.5 ジョブ[実行予定]ビュー

登録されているスケジュールの実行予定日を、カレンダー設定を反映した状態で表示します。実行予定日のフィルタ表示、予定の表示・非表示を設定することができます。

スケジュール名	ジョブID	ジョブ名	12/03/13	12/03/14	12/03/15	12/03/16	12/03/17	12/03/18
スケジュール01	TEST_JOB	ジョブ01	●	○	○	○	○	○
スケジュール02	TEST_JOB02	ジョブ02	●	○	○	○	○	○

図 5-5 ジョブ[実行予定]ビュー

表 5-5 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	更新	ジョブ実行予定を最新のものに更新します。
	フィルタ処理	表示期間の開始日を設定します。
	予定の表示	実行予定の表示/非表示を選択できます。

5.2.6 ジョブ[ジョブ詳細]ビュー

ジョブ[履歴]ビューで選択したジョブ、ジョブネット、ジョブユニットのジョブ階層と各々の実行状態を表示します。

実行状態	終了状態	終了値	ジョブID	ジョブ名	ジョブユニットID	種別	ファミリーID	スコープ
■ 終了	■ 正常	0	TEST_JOB02	ジョブ02	TEST_JU	ジョブ	HinemosMana...	Hinemosマネー

図 5-6 ジョブ[ジョブ詳細]ビュー

5.2.7 ジョブ[実行予定詳細]ビュー

ジョブ[実行予定]ビューで選択したスケジュールで実行されるジョブ、ジョブネット、ジョブユニットの実行予定日を、カレンダー設定を反映した状態で表示します。実行予定日のフィルタ表示、予定の表示・非表示を設定することができます。

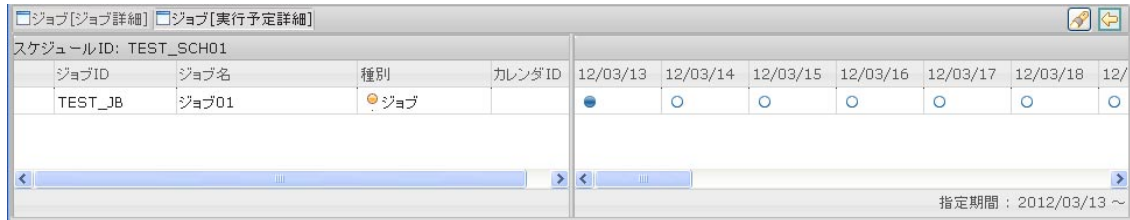




図 5-7 ジョブ[実行予定詳細]ビュー

表 5-6 ツールバー

アイコン	ボタン名	説明
	フィルタ処理	表示期間の開始日を設定します。
	予定の表示	実行予定の表示/非表示を選択できます。

5.2.8 ジョブ[ノード詳細]ビュー

ジョブ[ジョブ詳細]ビューで選択したジョブが実行されるノードと各々の実行状態を表示します。



図 5-8 ジョブ[ノード詳細]ビュー

5.2.9 ジョブ[ファイル転送]ビュー

ファイル転送ジョブの実行履歴を表示します。



図 5-9 ジョブ[ファイル転送]ビュー

5.3 ジョブ実行履歴の一覧表示

ジョブの履歴は、以下の3つのビューに表示レベルを変えて表示されます。

- ・ ジョブ[履歴]ビュー
スケジュールによる実行や監視連動による実行、もしくは手動実行されたジョブのレベルで表示されます。
- ・ ジョブ[ジョブ詳細]ビュー
ジョブ[履歴]ビューのジョブ実行履歴一覧で選択されているジョブの詳細が表示されます。ジョブを構成するジョブユニット、ジョブネット、ジョブといった要素のレベルで表示されます。現在どのジョブまで処理が進んでいるのかをチェックすることができます。
- ・ ジョブ[ノード詳細]ビュー
ジョブ[詳細]ビューのジョブ実行履歴一覧で選択されているジョブのノードレベルでの状態が表示されます。

ジョブの実行契機を判別するには

ジョブ[履歴]ビューの実行契機種別、実行契機情報に以下のような形で表示されます。

- ・ スケジュール実行の場合 実行契機種別:スケジュール 実行契機情報:スケジュール名(スケジュールID)
- ・ 監視連動実行の場合 実行契機種別:監視連動 実行契機情報:監視項目ID(プラグインID)
- ・ 手動実行の場合 実行契機種別:手動実行 実行契機情報:手動実行したHinemosのユーザ名

ジョブ履歴の表示を条件によって絞り込むには

ジョブ[履歴]ビューの『フィルタ処理』ボタンをクリックします。ジョブ[履歴フィルタ処理]ダイアログが開きますので、絞り込み条件を設定します。

絞り込み条件として設定しない項目は、空欄としてください。

図 5-10 ジョブ[履歴フィルタ処理]

6 制限事項

HinemosWebクライアントでは参照系のための機能提供となります。

HinemosクライアントとHinemosWebクライアントの機能比較は以下をご参照ください。

表6-1 Hinemos クライアントと HinemosWeb クライアントの機能比較

機能	Hinemos クライアント	HinemosWeb クライアント
ログイン	○	○
ログアウト	○	○
画面レイアウト(パースペクティブ)の選択	○	○
画面レイアウト(パースペクティブ)の保存	○	×
アクセス[ユーザ]ビュー	○	×
ユーザの作成	○	×
パスワード変更	○	×
ユーザ設定情報の変更	○	×
ユーザの削除	○	×
リポジトリ[ノード]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
リポジトリ[プロパティ]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
リポジトリ[割当てスコープ]ビュー	○	○
リポジトリ[スコープ]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
スコープツリーの作成	○	×
ノードの作成・変更・削除	○	×
スコープの作成・変更・削除	○	×
ノードの割当て	○	×
共通機能 - 通知設定 -	○	×
共通機能 - メールテンプレート -	○	×
共通機能 - 重要度判定 -	○	×
共通機能 - カレンダー設定 -	○	×
実行規則の設定	○	×
実行例外の設定	○	×
共通機能 - ログ転送 -	○	×
一括制御機能	○	×
インストール管理	○	×
起動と停止の管理	○	×
ユーザ管理	○	×
ファイルシステム管理	○	×
エージェント管理	○	×
一括制御の履歴表示	○	×
画面更新周期・履歴の表示制限の変更	○	×
マスタ編集	○	×
監視[スコープ]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
監視[ステータス]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供

監視[イベント]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
スコープ監視	○	○ ※参照機能のみ提供
ステータス監視	○	○ ※ステータスの削除は不可
イベント監視	○	○ ※レポート出力は不可
syslog-ng 監視	○	×
Hinemos エージェント監視	○	×
HTTP 監視	○	×
Ping 監視	○	×
プロセス監視	○	×
SNMP 監視	○	×
SQL 監視	○	×
リソース監視	○	×
SNMPトラップ監視	○	×
アプリケーションログ監視	○	×
サービス・ポート監視	○	×
性能管理機能	○	×
ジョブ[一覧]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[スケジュール]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[履歴]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[実行予定]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[ジョブ詳細]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[実行予定詳細]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[ノード詳細]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブ[ファイル転送]ビュー	○	○ ※参照機能のみ提供
ジョブの登録	○	×
ジョブネットの作成・変更	○	×
ジョブの作成・変更	○	×
ジョブの削除	○	×
ジョブの実行・開始・停止	○	×
ファイル転送ジョブの作成・変更	○	×
メンテナンス情報の登録・変更・削除	○	×

○ : 機能有り

× : 機能無し

7 変更履歴

版	変更日	変更内容
第1版	2012/08/01	初版発行

HinemosWebクライアント ver1.0 インストールマニュアル

作成者: NEC Corporation , NEC Soft, Ltd

この文書は

クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 2.1 日本
のもとでライセンスされています。

(<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/legalcode>)



Hinemosは(株)NTTデータの登録商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中には TM、R マークは表記しておりません。